



土居内遺跡展

—1,300 年前の流通インフラ—



新潟市江南区の土居内（どいうち）遺跡では、全国的にも類例の少ない奈良時代の橋脚が検出されたほか、木簡や赤く塗られた（赤彩）土師器皿など特徴的な出土品も見られます。発掘調査の成果から、土居内遺跡が果たした物流拠点という性格や、最終的に遺跡が廃絶に至るまでの自然環境の変化などを、出土品と写真でご紹介します。



川跡と橋脚



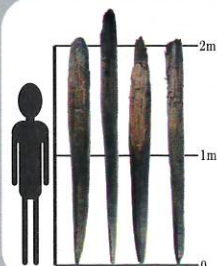
赤彩土師器皿



墨書土器「介」



荷札木簡



橋脚木柱

会期

令和8年

9月15日(火)

令和9年

3月7日(日)

会場

史跡古津八幡山 弥生の丘展示館

新潟市秋葉区蒲ヶ沢 264 花と遺跡のふるさと公園内
休館日等は裏面参照

土居内遺跡展

—1,300 年前の流通インフラ—

土居内（どいうち）遺跡は市道亀田 252 号線整備事業に伴う令和 2 年の試掘調査で発見された遺跡です。追加の確認調査を経て、令和 5 年に本格的な発掘調査を行ないました。

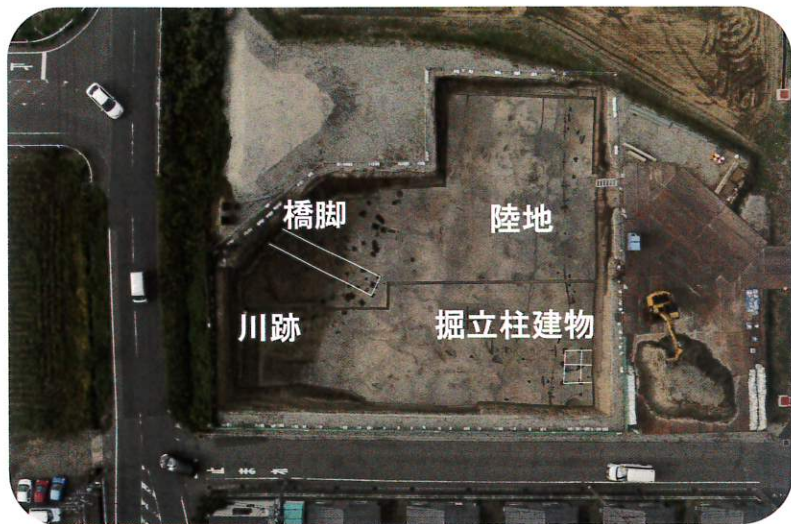
調査の結果、調査地西側の川跡から橋脚と考えられる木柱列が、東側の陸地から掘立柱建物が見つかりました。木簡や墨書土器などの文字資料が少数ながら出土した点も注目されます。

出土した土器の比較や、木柱の放射性炭素年代測定の結果から、土居内遺跡は 8 世紀、奈良時代の遺跡であると分かりました。

また、調査成果から、この土居内遺跡では川や潟を介した舟運において、物資の輸送・保管などを行なう、物流拠点として機能したと考えられます。

今回の企画展では、水利の良さという土地の強みを活かし、当時の人々が多大な労力を費やした栈橋で舟運をしていた様子を示します。その後、川の流れの変化によってインフラが機能しなくなった結果、遺跡が廃絶するまでを説明していきます。

現代の我々と土居内遺跡では、時代も社会も大きく異なりますが、こういった相違点、あるいは共通点があるのか、来館者の方に思いを馳せていただければと思います。



関連イベント

企画展講演会

日時：9 月 26 日（土）

13:30 ~ 15:00

講師：長谷川真志

（新潟市文化財センター 文化財専門員）

会場：新潟市文化財センター 1 階研修室

※展示会場と異なります

定員：40 名

申し込み不要 直接会場へお越しください

展示解説

日時：10 月 17 日（土）

11:00 ~ 11:30 / 14:00 ~ 14:30

会場：史跡古津八幡山 弥生の丘展示館

定員：なし

申し込み不要 直接会場へお越しください

会場案内・アクセス



史跡古津八幡山 弥生の丘展示館

〒956-0846

新潟市秋葉区蒲ヶ沢 264 花と遺跡のふるさと公園内

TEL・FAX 0250-21-4133

開館時間 10:00 ~ 17:00

入館料 無料

休館日 ・月曜日（祝日の場合は翌日）

・祝日の翌日

・年末年始（12/28 ~ 1/4）



こちらの二次元コードから弥生の丘展示館のホームページをご覧いただけます



お車 磐越自動車道 新津 IC から約 20 分

国道 49 号 茅野山 IC から約 20 分

バス <新津駅東口バス停から>

区バス「新津駅西口」行き

「美術館・植物園前」下車 徒歩すぐ

新潟交通観光バス「矢代田経由白根・潟東」行き

「新津美術館入口」下車 徒歩約 5 分

<矢代田駅前からバス停から>

区バス「新津駅東口」行き

「美術館・植物園前」下車 徒歩すぐ

新潟交通観光バス「新津駅」行き

「新津美術館入口」下車 徒歩約 5 分

電車 JR 古津駅から 徒歩約 25 分

JR 新津駅から タクシー約 15 分

JR 矢代田駅から タクシー約 5 分